

平成28年 第2回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、平成28年第2回市議会定例会の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

はじめに、4月に発生いたしました熊本地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、今なお、避難生活を余儀なくされている方々に心よりお見舞い申し上げます。本市におきましては各種団体と協力して募金活動を実施し、市民の皆さまからの支援募金は日本赤十字社を通じて届けるとともに、

救援物資としてペットボトルの飲料水を熊本県上益城郡御船町の物資供給所へ届けたところであります。多くの方々のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

今回の熊本地震は活断層が引き起こした地震であり、本市においても同様な地震が想定されることから改めて、地震災害に備えることの重要性を認識したところであります。

さて、昨年10月の大村智名誉市民の「ノーベル医学・生理学賞受賞決定」が報じられてから、早や8か月余りが経過いたしました。この間、葦崎大村美術館には延べ62,000人を超える多くの来館者が訪れ、4月2日には記念すべき10万人目の入館者を大村館長自らがお迎えしたところであります。

また、来館される方々の利便性を向上するために、案内看板の増設、仮設トイレ及び防犯灯の新設など、環境の充実に努めているところであります。

さらに、今年のおに塚のサクラの開花期間中には、例年を大幅に上回る、およそ55,000人が当地を訪れるなど、いまや「葦崎」の名は全国各地に広がっております。

そのような中、5月10日の「大村智名誉市民のノーベル賞受賞をみんなで祝う会」には、多くの市民のご参加をいただき、葦崎北西小学校の児童による合唱や葦崎西中学校の生徒達からのビデオメッセージ、葦崎高校箏曲部による琴の演奏や「大村記念図書館」への名称変更にもなう刻字看板のお披露目、ニーラからのサプライズプレゼントなど市民手作りの演目により盛大にお祝いしたところであります。大村先生のご健勝と今後ますますのご活躍を心からご祈念申し上げます。

本年は米国・フェアフィールド市との姉妹都市締結45周年の記念の年であり、市民の代表9名からなる親善使節団とともに、5月17日から24日までの8日間の日程で訪問してまいりました。

この度の訪問では、45年の交流の歴史を記念すると共に、ますますの発展を祈願して、フェアフィールド市庁舎敷地内に設置されている橋を「姉妹都市友好の橋」と命名していただき、改めて両市の末永い交流を約束して帰国したところであります。なお、10月にはフェアフィールド市からの親善使節団のお迎えを予定しております。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

まず、子育て環境の整備についてであります。

再編保育園第2園につきましては、現在、建設予定地である藤井保育園隣接地の埋蔵文化財発掘調査を実施しており、建物につきましては、保育園と公民館の複合施設として、地域の世代間交流や活性化が図られるよう、関係者のご意見を伺いながら設計を行ってまいります。

次に、活力ある学校教育の推進についてであります。

少子化・人口減少社会を踏まえ、小規模校のメリットを生かし特色ある教育を推進していくため、文部科学省の調査研究委託事業として、穂坂小学校と葦崎北西小学校を対象に、タブレット端末の導入によるICTを活用した学力の向上、外部講師の招聘、小中学校の連携による学習支援体制の構築など活力ある学校教育に取り組んでまいります。

次に、甘利小学校大規模改修についてであります。

「学習メディア・給食棟」の新築工事につきましては、児童の学習活動等への影響に配慮しながら、夏休みからの着工に向けて準備を進めております。

次に、健康ウォーク推進事業についてであります。

春の武田の里ウォークは、幸福の小径から望む、富士山、茅ヶ岳、八ヶ岳や新府桃源郷からの南アルプスの眺望、わに塚のさくらなど本市の春を彩る自然景観と武田八幡宮や新府城跡など武田家ゆかりの史跡を巡る中で、地域の方々との交流という魅力も詰まったウォーキングへとりニューアルいたしました。大会当日は全国各地から約1,000名のウォーキング愛好家が参加され、春の葦崎を満喫していただきました。

さらに、昨年度より“穂坂ぶどう郷ウォーク”と題して開催しております、秋の武田の里ウォークについても、ぶどう畑の広がる初秋の穂坂台地で実りの秋を楽しんでいただきたいと考えております。

ウォーキングが日常生活の習慣として定着し、健康寿命の延伸など「歩く」をテーマとした健康事業とあわせてこれからも取り組んでまいります。

次に、ごみの減量化と循環型社会の実現についてであります。

昨年10月に策定した「^{にいまる} ^{いあまる}ごみ減量アクションプラン」については、その周知を図り、市内飲食店における食品ロス削減に向けた「20・10運動」の展開と市内全地区を対象に説明会を開催してまいりました。地域の皆様のご理解とご協力により特にミックス紙の資源化については、その効果が表れておりますので、これからは積極的な推進に努めてまいります。

次に、企業誘致の促進についてであります。

このたび上ノ山・穂坂地区工業団地内に、東京都八王子市に本社を有し、自動車部品等の製造で世界的なシェアを誇る、株式会社テージケー(TGK)が平成30年4月の操業を目指し、入居する運びとなりました。同社の進出に伴い、市内雇用の拡大や地域経済のより一層の活性化など、様々な波及効果が得られるものと大いに期待するところであります。

また、本工業団地は首都圏からのアクセスに恵まれ、眺望にも優れた立地環境が好評であり、企業からの問い合わせも増えていることから、庁内に推進チーム

を組織し、拡張に向けて調査を進めてまいります。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

先に申し上げましたとおり、昨年来続く大村智名誉市民のノーベル賞受賞による本市への大きな追い風を生かし、まずは、7月の「戦国ヒルクライム in 葦崎・甘利山」大会をノーベル賞受賞記念事業として開催するほか、夏の夜空を彩る恒例の花火大会の特別プログラムを「一期一会」と題して盛大に開催するなど、訪れる皆様の心に残るイベントとして実施してまいります。

これからも、先生が折りにふれ『世界中を歩いたが、これだけきれいな場所はない。原点は山梨・葦崎』と語る『故郷・葦崎』の、魅力ある観光施策の推進に努めてまいります。

次に、夏期巡回ラジオ体操の開催についてであります。

7月30日開催のNHK夏期巡回ラジオ体操は、地区長連合会及び体育協会に後援をいただくとともに、市内小中学校及び各町育成会連合会等、各種団体のご協力のもと、葦崎市民のパワーを全国へ発信してまいりますので、ご家族、友人など多くの皆さまのご参加をお願い申し上げます。

これら施策の具体化のため、今議会におきまして、ご審議をお願いいたします案件は、これまで申し述べましたことを踏まえ、

予算案件 1件

条例案件 2件

その他案件 3件 であります。

まず、平成28年度一般会計補正予算についてその概要を申し上げます。

今回の補正は、緊急性を生じた事業を中心に編成したところであります。

まず、総務費であります。

災害時の通信規制などに対応する優先電話の敷設と、ひかり回線への改修経費として、庁舎管理費に35万円、地方公共団体情報システム機構への通知カード、個人番号カード関連事務負担金として、戸籍住民基本台帳事務費に454万8千円を追加計上するなど、総額1,036万6千円を増額補正しております。

次に、民生費についてであります。臨時福祉給付金支給事業の支給額の確定に伴い、1,943万2千円を減額するなど、総額1,868万4千円を減額補正しております。

次に、農林水産業費についてであります。新規就農者が、農業経営を拡大するため、金融機関からの融資を受け、農業用機械等を購入する経費の一部助成費用として、経営体育成支援事業費に108万2千円を追加計上しております。

次に、土木費であります。

サンコーポラス藤井・竜岡の入居者増加に伴い、空き部屋を改修する経費として、定住促進住宅管理費に935万8千円を追加計上するなど、1,698万6千円を増額補正しております。

次に、消防費についてであります。

宝くじ助成事業の採択に伴い、消防団への備品購入経費として、消防施設維持管理費に105万5千円を追加計上しております。

次に、教育費であります。

地区公民館管理運営費につきましても、宝くじ助成事業の採択に伴い、備品購入経費として257万2千円を追加計上するなど、総額1,587万4千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、2,667万9千円の増額補正となり、現計予算額は、138億4,767万9千円となります。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げ、私の所信といたします。

平成28年6月9日

葦崎市長 内藤久夫